

資金調達プログラム ファクトシート

資本市場におけるインパクト投資

IFCの資金調達プログラム

IFCは、トリプルAの信用格付けを維持しながら、途上国の包摂的かつ持続可能な経済成長を促進するため、資本市場を通じて資金を調達しています。コア通貨建てのベンチマーク債、テーマ別債、新興国通貨建て債など、資本市場の発展を促進するために多様な発行を行っています。IFCは、主に米ドルで貸し出しを行っていますが、幅広い投資家層へのアクセス、コスト削減、新興資本市場発展の支援のために、さまざまな通貨での資金調達を行っています。

IFCの資金調達プログラムは、融資拡大と共に成長しており、24年度の年間調達目標額は130億～140億ドルです(割引債(Discount Note)を除く)。

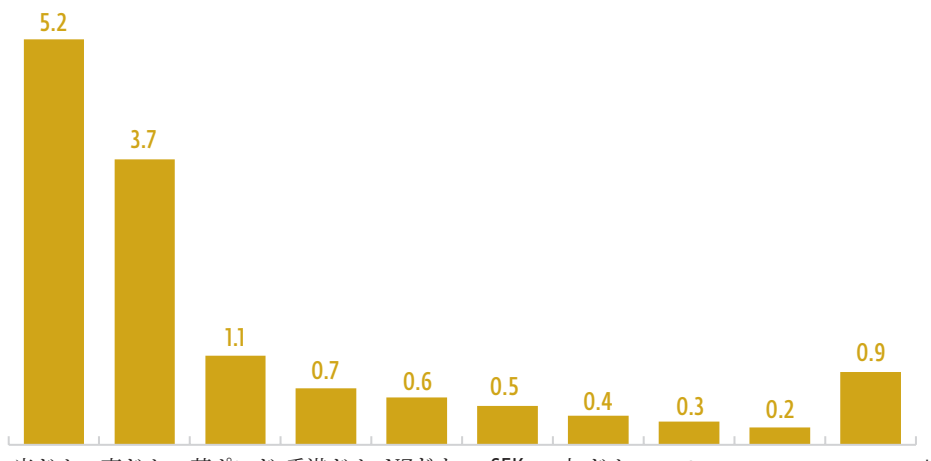
資金調達戦略は以下の点に焦点を当てています:

- コア資本市場における定期的なプレゼンスを確立する
- 幅広い資本市場へのアクセスを確保し、オポチュニスティックで競争力のあるプライスでの取引から利益を得る
- 新興資本市場の発展を促進するため、当該国内市場において現地通貨建ての債券を発行する
- グリーンボンドおよびソーシャルボンド適格プロジェクトの成長を支援する

柔軟性と費用対効果を高めるため、調達通貨は国、投資家属性、期間の面で分散されています。23年度、IFCは通貨24種類、機関1年～30年で借入を行いました。

23年度、米ドル市場はIFCの最大調達先であり、総額の38%を占めました。IFCは米ドルのベンチマーク債の定期的な発行体であり、少なくとも年に1回、通常10億ドルから20億ドルの債券発行を行っています。IFCは、オーストラリアドル、カナダドル、ニュージーランドドル、英ポンドなど、他のいくつかの通貨でベンチマーク規模の債券を発行しています。

FY23年度 調達実績 (通貨別、十億米ドル)



*その他通貨: RON, BRL, HUF, UZS, MXN, COP, ZAR, KRW, AZN, KZT, EUR, DOP, JPY, JMD AND CLP.

IFCについて

世界銀行グループの一員であるIFCは、新興市場の民間セクターに焦点を当てた世界最大規模の開発機関です。IFCは100カ国以上で活動し、自らの資本、専門知識、影響力を行使して、発展途上国において新たな市場と機会を創出しています。2023年度に、IFCは途上国の民間企業および金融機関向けに過去最高の437億ドルをコミットしました。IFCは各国が世界的な複合的な危機に立ち向かう中、極度の貧困を削減し、繁栄の共有を促進するために民間セクターの力を活用しています。



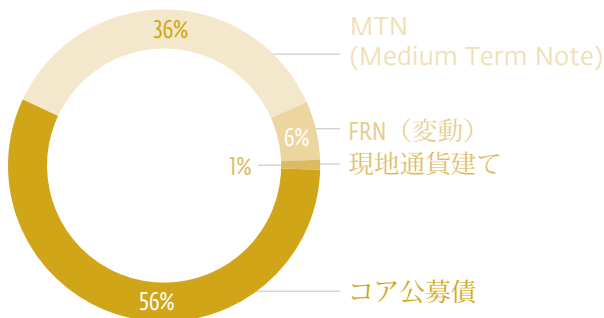
IFCの市場アクセスは非常に強固で高度に多様化されており、その結果、市場アクセスの質と深さについて「aaa」スコアが付けられています。同社は、資金調達を多様化し、新しい資金ソースを開拓しているパイオニアです。また、IFCは債券の買い戻しや早期償還も積極的に活用し、市場に流動性を供給しています。IFCは、その広範な資金調達手法により、米国と日本の個人投資家を含む、非常に大規模で多様な投資家基盤を有しています。

MOODY'S INVESTOR SERVICES, IFC'S CREDIT OPINION, January 2024



Creating Markets, Creating Opportunities

FFY23年度 調達実績（市場別）



IFCのグリーンおよびソーシャルボンドプログラム



2010年に始まったグリーンボンドプログラムは、23年度までに21の通貨で126億ドルを調達しました。



2017年に始まったソーシャルボンドプログラムは、23年度までに14の通貨で61億ドルを調達しました。

私たちの提供する価値

- 世界銀行グループの一員であるIFCの使命は、住みやすい地球上における、①極度の貧困の撲滅及び②繁栄の共有の促進です。
- IFCは、開発途上国の民間セクターへの投資を通じて、持続可能な成長を促します。
- IFCは、60年以上に亘って、新興市場における経済成長と発展を支援するために、資本市場における資金を動員してきました。
- IFCは、経済・金融の不確実性が高まる中、景気循環に対抗する（カウンターシクリカルな）役割も果たしています。
- また、IFCは、再生可能エネルギー、農業、健康、教育、金融市場など、幅広いセクターで発展途上国にアドバイザーサービスを提供しています。

この文書は、IFCが発行する債券の購入を提案・推奨するものではありません。

Photo credit: IFC/Dominic Chavez

AAA Rating Considerations

- 株主は186カ国の加盟国政府であり、資本金の50%以上をAAA/AA格の国々が出資
- 設立（1956年）以降の着実な利益による内部留保の蓄積により、強固な資本基盤を確立
- 非常に保守的な流動性カバレッジ比率(LCR)とレバレッジ比率を備えた実質的な流動性バッファを有する
- グローバルな資本市場において多様な投資家へのアクセスを有する
- 世界117カ国、1,900社以上の企業に投融資を行い、高度に分散されたポートフォリオを有する
- 1989年の最初の格付取得以来、S&Pとムーディーズより一貫してAAA/Aaaの格付評価を維持
- バーゼル規制の下でIFCのリスクウェイトは0%

IFC財務部門の連絡先

資金調達グローバルヘッド

Flora Chao | fchao@ifc.org

ワシントンD.C.

Yuri Kuroki
Head of Funding - Americas
ykuroki@ifc.org

Zauresh Kezheneva
Financial Officer
zkezheneva@ifc.org

ワシントンD.C. IR

Ayelet Perlstein
Head of Investor Relations
aperlstein@ifc.org

Obert Limbani Associate
Financial Officer
olimbani@ifc.org

Marsha Monteiro
Financial Analyst
mmonteiro@ifc.org

ロンドン

Elena Panomarenko
Head of Funding - Europe
epanomarenko@ifc.org

Roland Maassen
Associate Financial Officer
rmaassen@ifc.org

IR

Laura Stirling
Digital and Communication
Coordinator
lstirling@ifc.org

シンガポール

Marcin Bill
Head of Funding - Asia
mbill@ifc.org

Hiroyasu Hirano
Financial Officer
hhirano@ifc.org

東京 IR

Kenji Kanamoto
Senior Financial Officer
kkanamoto@ifc.org